

平成 30 年度

鹿児島大学陸上競技部 部報



鹿児島大学陸上競技部ホームページ

<http://www4.synapse.ne.jp/kadairikubu/>

目次

○OBG 会挨拶

○部長・監督挨拶

○コーチ挨拶

○幹部挨拶

○平成30年度陸上競技部 OBG 会決算報告

○主な成績

○平成30年度学生部員名簿

○編集後記

鹿大陸上部 OBG の一員として

H15 入 原田 達也

鹿大陸上部 OBG 会員の皆様並びに現役部員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。本年度の部報の執筆を OBG 会麻生副会長より任命されましたので、僭越ながらこちらを書かせていただきます。

ご存じではない方も多いと思いますので、まずは自己紹介をさせていただきます。

私は平成 15 年に鹿児島大学教育学部保健体育専修に入学と同時に陸上競技部へ入部し、大学院在籍を含めた 6 年間、鹿大陸上部でお世話になりました。在籍中は、走高跳を専門に取り組み、フィールドブロック長も務めさせていただきました。大学院修了後は、中学校現場での保健体育教諭として鹿大附属中学校、万世中学校、現在は出水市にある大川内中学校で勤務しております。ありがたいことに陸上にはすべての学校で関わることができ、陸上部顧問としての指導はもちろんのこと、県中体連陸上専門部や陸上競技協会の活動にも携わらせていただいております。

大学を出てからも、鹿大陸上部の活動には目を向け続けており、どんな選手がいて、どんな成績を出しているのか、ホームページを見たり、毎年の OBG 会に参加したりと、陰ながら活動を応援させてもらっています。

今シーズンの鹿大陸上部の活躍を振り返ってみると、最も印象的だったのが、4 月に行われた県記録会男子走幅跳の様子です。私は、走高跳の審判をしながらでしたが、盛り上がる幅跳びピットの様子に目を向けずにはられませんでしたが、紺のランシャツに赤のランパンの選手たちが、会場に手拍子を求める姿。跳躍時にはどよめきが起こり、記録発表後には大きな歓声。特に 6 回目は、肝付くん、田中君、馬見塚くん、田坂くんと、7 m 3 0 オーバー連発の跳躍で 4 人とも 1 位の記録を塗り替えていくすばらしい跳躍合戦でした。最終的には田坂君の 7 m 4 2 で決着がついたわけですが、5 人の 7 m オーバー、4 人の 7 m 3 0 オーバー、2 人の 7 m 4 0 オーバーということで、鹿大陸上部跳躍ブロックの強さ、勢いが大きく示された大会でした。見ていてとても頼もしく、うれしく感じました。

また、春インカレでの肝付くんの十種競技も毎競技の結果がアップされるのを楽しみに見させていただきました。他にも、8 0 0 m の大津屋くん、10000mW の高橋くんなども上位入賞していました。シーズンを通して、自己ベストを更新し、鹿大歴代記録にランクイン、ランクアップした選手も多かったのではと思います。

来シーズンも現役部員の皆さんには、陸上競技に時間を費やして取り組める貴重な期間である「今」を大切に、競技力向上に努めてほしいと思います。結果を楽しみにしています。

さて、皆さんご存じの通り、2020 年には「東京オリンピック」、秋には「かごしま国体」を控えています。特に国体に向けては、地元選手として活躍できる選手を育成するために、これまでいろいろな議論が交わされ、現在では少年クラスの選手強化のために、KGA (Kagoshima Golden Athlete) という強化選手を選抜し、年間を通じた練習会等が行われています。2020 年はすぐそこまで迫っています。鹿大陸上部からも、一人でも多く「かごしま国体」「東京オリンピック」の代表選手が輩出されることを願っています。

最後になりましたが、私は鹿大陸上部 OBG の一員として、今後も現役部員の皆さんの応

援をし続けながら、鹿児島県陸上界の発展に少しでも貢献できるよう、微力ながら、多くのことに尽力していきたいと思えます。そんな中、年々、OBG会のテーブルが少なくなっていることに寂しさも感じています。OBGの皆様におかれましては、可能な限り出席していただき、昔話に花を咲かせ、鹿大陸上部 OBG の一員として、今後とも鹿大陸上部を応援していただけると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

今年度の振り返り

部長・監督 塗木 淳夫

日頃からご支援ご愛顧を賜っております OBG の皆様方、今年度は OBG 活動に多大なるご迷惑と陸上部の活動にご心配をおかけいたし、謹んで深くお詫び申し上げます。多くの方々から応援の言葉をいただきました。どのような言葉で感謝を申し上げればよいか分かりません。前部長・監督の鳥丸先生、丸山先生からのお言葉には救われました。また、OBG 会長有蘭先生、副会長麻生先生、内田コーチ、トレーナーの皆さん、市来さんには、チーム再興を支えてくださり、本当に感謝しています。また、落ち込んでいた私を常に支えてくれた家族にも感謝しないといけないと思っています。私自身もですが、スタッフ一同、学生諸君もお互いに傷を負いながら大変苦しい思いをしました。しかし、現在は5月に熊本で開催される春インカレに向けて、頑張っているところです。報告が遅れましたが、そういった中で、日本学生陸上に田坂君が三段跳で出場、チームが秋インカレ、九州学生新人、島原駅伝で活躍しました。詳細については、結果報告をご参照ください。

鹿児島大学陸上競技部の方針や幹部との約束事、フェアプレイ 7 カ条について、紹介したいと思います。これについては、幹部学生・スタッフ一同で話し合いました。主将の方からも部員には周知されています。競技者として陸上競技部に所属する限り必要不可欠と思われることです。また、競技をする上で、フェアプレイはとても大事です。フェアプレイ 7 カ条を宣言したいと思います。

この機会をバネにしてさらなる努力を重ねてまいります。今後ともご支援とご愛顧のほどよろしく願いいたします。

鹿児島大学陸上競技部の良い伝統を守る

1. 競技を全力で行う
2. 礼儀・感謝の気持ちを忘れない
3. 挨拶・相談・報告・連絡を重視
4. 部の規律を尊重する

1. 競技を全力で行う～①自己ベスト更新、②チーム種目入賞（リレー、駅伝）、③インカレ入賞、④日本インカレ出場
2. 礼儀・感謝の気持ちを忘れない～家族、部スタッフ、先輩・部員同士、OBG関係者、鹿児島大学、陸上競技役員、年長者を敬う気持ちなど
3. 挨拶・相談・報告・連絡を重視～円滑なコミュニケーション、主体性と自分勝手に混同しない事、学ぶ姿勢を忘れない事
4. 部の規律を尊重する～無断欠席、遅刻、提出物のべ切厳守、報告義務など

幹部との約束事

・部員を纏める役目であると同時に監督・コーチ・トレーナーに相談・報告・連絡を行う義務を果たす事。

・監督・コーチ・トレーナーも選手が強くなるために関わる同志だということを忘れない事。

主将～主務・副主務・ブロック長・部員の状況を把握し、監督に相談・報告するとともに、主務・ブロック長・部員に対して、責任をもって取りまとめる事。また、部員代表として、大学・OBG・部外者に対して責任をもって対応する事。

主務・副主務～申請、提出書類等ミスの無いよう作成するとともに、監督の承認・決裁が必要なものは必ず監督のサインと捺印を得る事。対外的（陸上競技協会など）な依頼があった場合は、必ず監督と主将に相談・承認を得る事。

ブロック長・パート長～リレー、駅伝に関するポイント練習に関しては、監督・コーチに練習内容、練習日時、選手選考に関して事前に相談する事。インカレの選手選考の方法、場所・日時に関しては監督・コーチに相談する事。一か月ごとの練習メニューについて監督・コーチに報告する事（ブロック長が工夫して主体的に作成してよいが、相談することも可）。大会の報告を監督・コーチに各選手が行うように徹底させる事。監督・コーチが不在の記録会などは、ブロック長・パート長が各選手の反省を取りまとめ、ライン等で報告する事。スポーツ科学の根拠に従ったトレーニング計画を立てる事。長期休暇期間（春休み、夏休み等）の強化練習を工夫する事（大学生の利点を最大限に生かす）。

マネージャー～選手のコンディショニング希望者の取りまとめを行い、トレーナーに報告する事。大会等で監督・コーチから指示があった場合、適宜対応する事。

フェアプレイ7カ条



The graphic features a dark brown circle on the left containing the text 'フェアプレイ 7カ条' (Fair Play 7 Principles) in white. Below the text are two cartoon mascots: a blue one with a white chest and a pink one with a white chest. To the right of the circle is a list of seven principles in orange text.

1. 約束を守ろう
2. 感謝しよう
3. 全力をつくそう
4. 挑戦しよう
5. 仲間を信じよう
6. 思いやりを持とう
7. たのしもう

日本スポーツ協会より抜粋

平成30年の反省と今年の展望

短距離コーチ 内田 大介

鹿大陸上部の創立が昭和24年ということであれば、今年は創部70周年目にあたります。部に人格があるとすれば、年齢的には“古希”にあたり長寿の祝いとされています。陸上部の構成員として活動するのは通常（院生、留年生を除いて）4年間ですから、70年と言われてもなかなか実感が湧かないわけですが、私が大学に入学して以来23年間陸上部に関わっているので、歴史の重さを意識する瞬間があります。70周年おめでとう！

塗木監督から「鹿児島大学陸上競技部の良い伝統を守る」として、部の方針や約束事、フェアプレイ7カ条の提示がありました。構成員である学生は毎年変わるし、学生を取り巻く周囲の環境や社会の状況も変わるしと、さまざまな影響により部の運営方針の変更を余儀なくされることがあるわけですが、鹿大陸上部が鹿大陸上部であるための根幹に関わる“不変のもの”はたしかにあると思います。それが良き伝統であり、代々受け継がれてきたマインド（魂）なのだと思います。先輩から受けたものを後輩に引き継いでいくためには、自分たちの代でそのマインドを実践し結果として現前させることが何より具体的かつ確実な方法と言えます。現役学生の実践・運用如何によっては、引き継がれるべきマインド自体がおかしな形に変質する可能性は大いにありますから、良いものを守り続けるというのは口で言うほど容易なことではないでしょう。逆に現役学生には、これまでになかった良いものを創り出す、新たな伝統を紡いでいく力と立場が与えられています。3年生はもちろんのこと部員全員が、自ら舞台の上に立って主役を演じているのだという自覚を持って、競技や部の運営に対して積極的に取り組んでほしいと思います。

昨年の短距離ブロックの競技結果については、後述の試合結果をご覧いただければと思うのですが、2、3年生が主力のチームだったため、まだまだ未熟で発展途上段階です。今行っている冬期トレーニングを個々人が（漠然とではなく）意識的にしっかり消化できれば、大いなる成長が期待できると信じています。特に男子4×100mリレーについては、昨年の九州インカレ予選敗退の雪辱を晴らすべく奮起してもらいたいところです。

最後に、昨年はOBG会の有菌会長、麻生副会長には鹿大陸上部のためにいろいろとお骨折りいただき、誠にありがとうございました。その他にも多くのOBGの先輩・後輩より意見や労わりの言葉を頂戴し、感に堪えません。学生共々、我々も成長していけたらと考えていますので、ますますのご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

来シーズンに向けて

主将 柴田 康平

昨年の五月より主将を務めさせていただいております柴田康平です。今年度も多くのOBGの皆様からのご支援・ご声援に感謝申し上げます。鹿児島大学陸上競技部が日頃から充実した活動をできること、またその活動から得られた結果は監督・コーチ・トレーナーをはじめ、多くの鹿児島大学陸上競技部に関わってくださっている皆様のご支援・ご指導の賜物であると感じています。重ねてお礼申し上げます。

さて、昨年の五月より現在の体制で活動を行ってきました。今年度は昨年より幹部を引き継いだものも複数人いるため、昨年度の良い面を取り入れつつ、部全体やブロック、パートがよりよくなるためにはということを考えながら活動を行っています。今年度も多くの新入部員が入部し、部全体に新しい風を吹かせてくれました。その刺激もあって今年度は春インカレをはじめ多くのインカレで入賞することができました。また島原駅伝では、男子は昨年度より順位は1つ落としたものの記録は向上し、入賞圏内とのタイム差も大きく縮まりました。今年度も女子は短距離の力を借りながらでしたが出場することができました。

今年度は多くの部員が自己ベストやそれに近い記録を出していたことがとても印象的でした。その中には全日本インカレや日本選手権の標準記録に迫る部員もおり、とても良い雰囲気シーズンを終えることができました。では来年度さらなる記録更新をするためにはどのように過ごせばよいか。OBGの皆様なら身をもって体感されたと思いますが、冬期が1年で一番成長できる時期です。その冬期をいかに過ごすか、ここに焦点を当てて今年の冬期は練習を行っています。昨シーズンでの自分のパフォーマンスや記録の変化で自分の強み、そして課題が見つかったと思います。そこを重点的に意識することで春先に大きく飛躍できると考えています。この冬期で私たちだけでなく他大学やライバルももちろん成長してきます。しかしそれに負けないもしくは超える成長をすることができれば、自己ベスト更新、インカレ入賞は夢でも無いと思います。春インカレまで残り数ヶ月です。今自分にできることを積み重ねて大舞台で発揮出来るように精進していきたいと思います。そしてこの約四年間が決して無駄ではなかったことを自分たちで証明して、後輩たちにバトンを渡せればと思います。

最後になりましたが、来シーズンも鹿児島大学陸上競技部は目標達成のためにより一層精進して参ります。今後とも鹿児島大学陸上競技部へのご支援・ご声援をよろしく願います。

今年度（＝2018年度）の鹿大陸上競技部活動を振り返って

～鹿児島大学陸上競技部の更なる発展を目指して～

主務 田坂 裕輝

今年度（＝2018年度）、主務を務めております田坂裕輝（教育学部3年・跳躍パート）です。

今年度も OBG の皆様から数多くのご指導・ご支援を賜り、大変充実した活動ができましたことを篤く御礼申し上げます。また、個人的には、前年度に引き続き今年度も個人選手権・全日本インカレ等全国大会（＝種目：三段跳）出場に際して、多大なご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、今年度当初は、本学陸上競技部の旧幹部から新幹部への幹部交代が円滑に進行できませんでした。これに伴い、部員が安心して活動に専念できる部活環境の維持（保持）が一時的に危ぶまれることにもなりました。

これらのことも踏まえて、

- 1 「強い組織としてのトップダウン方式とボトムアップ方式の絶妙なバランス保持」
- 2 「部長・監督、コーチ、幹部、部員との合意に基づく仕事の遂行」
- 3 「チームの和（秩序）を保つための対応」

を重点項目として掲げ、主務として部の立て直しに向けて粉骨砕身励んで参りました。

さらに、部長・監督が、陸上競技部のビジョンとして掲げておられる「報告・連絡・相談の徹底」、「部の規律・秩序の尊重」等に徹底的に取り組んで参りました。

仕事に取り組む中で自身の知見を深めることが出来ました。特に、多くの方々のご支援があり、陸上競技部が成立しているということを再認識致しました。私は、主務と兼ねて前年度から OBG 係も担当しており、年1回開催される OBG 総会・懇親会の運営に携わりました。そこで、毎年多くの方々のご出席を賜り、感謝の念を深めると共に、我々陸上競技部員は支えられているということを強く実感致しました。さらには、鹿児島陸上競技協会や多数の外部関係者の方々のお力添えもあり、円滑円満な部活動の運営が実現できているということも改めて感じました。

一方で、今後の課題も発見できました。それは「開かれた陸上競技部」の実現です。新幹部に交代後の今年度は、競技力の高い3年生が積極的にリーダーを務めて「強い陸上競技部」へと変革を遂げました。それに伴い、我々部員一同は、今まで以上に多くの方々のご支援・ご期待にお応えしていかなければなりません。部総会、部報・ホームページ等で成果をお知らせすることは勿論ですが、その他にも関係者の皆様との交流の機会を積極的に設けていきたいと強く感じました。

最後になりますが、私と同じく鹿児島大学陸上競技部の名を全国に轟かせ、その発展に貢献するために入部してきた現役部員、さらに、これから入部してくる志高き部員たちのサポートを今後も全力で行っていきたいと強く感じました。そして、2020年には、鹿児島国体が開催されます。それに伴い、地元鹿児島大学への注目がより一層集まることでしょう。我々は、陸上競技を通して「する・見る・支える・知る」等、多様な視点からその期待にお応えしたいと感じています。

今年度を振り返って

副主務 森下 穂風

今年度、副主務をさせていただいております森下穂風です。今年度もOBGの皆様からのご支援や、監督コーチのご指導により私たち鹿児島大学陸上競技部の活動が充実したものになりましたことに御礼申し上げます。

例年5月に幹部交代があり、そこから新しいチームとして動き出すところですが、今年度は様々な問題があり、スムーズに新チームで動き出すことができませんでした。また、そのためOBG総会も12月にずれ込んでしまい、OBGの皆様にも大変ご迷惑をおかけしました。しかし今回の出来事があったおかげで、様々な方のサポートあってこそこの鹿児島大学陸上競技部であると再確認することができました。

大会の手配に関しては、新人戦で急遽ホテルの部屋数が足りないとなった時、別のホテルを新たにする等の対応をし、臨機応変に対応することの大切さを感じました。

私たちの学年にとってはほとんどの人が今年の春インカレが最後の大会になります。一人でも多くの選手が自分の納得できる記録を出すことができるよう、マネージャーの面からも選手を支えていきたいと考えております。これからも変わらぬご支援をよろしく願います。

今年度の振り返り

短距離ブロック長 河野 優樹

今年度、短距離ブロック長を務めさせていただいております河野優樹です。今年度は短短パート 8 名、短長パート 11 名短距離ブロックとしては総勢 19 名で日々の練習に取り組んで参りました。短距離ブロックとしては少ない人数ではありますが、一人一人が自分の課題、目標に向かってお互いに刺激しあいながら個々の競技力向上に努められているのではないかと感じております。

今年度の競技成績を見ても鹿兒島大学陸上部としては今までの伝統を崩さずにしっくりと結果を出してきていることのように思われます。しかし、ブロックごとで見ますと跳躍混成ブロックが勢いそのままに活躍されていることが多く見受けられます。しかし短距離ブロックとしても個人での活躍が少しずつ増えてきていると思います。競技力に差があることは仕方が無いことですが短距離個人一人一人をみるとほとんどのものが専門種目での自己ベスト更新をされており、短距離全体としても競技力は向上していつているのではないかと感じております。しかし、短距離としての競技力の試される 4×100mR、4×400mR ではいい選手がいるなかで今年度はなかなか結果を出せていないのが現状でした。一番の盛り上がりであるリレー種目で力が発揮されていなかったことは反省しなければならないところです。個人の競技力は上昇傾向にあるためその中でどのようにみんなで盛り上げていけるかが短距離全体としての鍵になってくるのではないかと考えております。目指すところは春インカレであるため、全員が同じ方向を向いて目標を見失うことなく一直線に進んでいけるようにより鍛錬に励んでいきたいと思っております。

また監督やコーチ、OBGの皆様、トレーナーさんなどの方々のご支援、ご指導のおかげで恵まれた環境で競技に打ち込めていることを心より感謝申し上げます。残り数ヶ月しかありませんがやれることは全部やりきって春インカレに万全の状態で乗り込めるように取り組んでいきたいと考えております。これからも変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

今年度の振り返り

長距離ブロック長 中山 謙

長距離ブロック長を務めさせていただいております中山謙です。はじめに、鹿児島大学陸上競技部が日々活動出来ているのも OBG の皆様や監督、コーチ、トレーナーなどの方々のご支援・ご協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

5月に幹部交代を行い、昨年度と同様に今年度の目標を「長距離ブロックで春インカレ 20点・島原駅伝入賞」として日々練習に取り組んで参りました。春インカレでは目標には僅かに及ばず 19 点でしたが、高橋さんの 10000mW で優勝をはじめ、柴田が 3000mSC で準優勝、西も同じく 3000mSC で 5 位入賞と大いに盛り上がりました。

島原駅伝では、昨年度より 1 つ順位を落とし男女ともに 11 位という結果でした。しかし、男子は、昨年度は 8 分あった 8 位との差が 4 分まで縮まり、また第 3 中継所では 6 位で襷を繋ぎました。今までにない入賞への手応えを感じることができました。その一方で、チーム総合力やメンバー外の 8 番手以降の選手の底上げ、4 区や 5 区の山の区間の選手起用など入賞するために現在のチームの課題も多くありました。一人ひとりがそれらの課題に向き合いながら、練習に取り組み、来年度こそは入賞を掴み取りたいと思います。女子の方は、昨年度に続き、短距離部員やマネージャーに走ってもらう形ではありましたが、2 年連続で出場することができました。島原駅伝に出場することが決まっているかどうかだけでもモチベーションが大きく違うと思うので、来年度もまずは出場できるよう、そしていずれかは入賞を狙えるチームをなるように取り組んでいきたいと思います。

私は昨年度から長距離ブロック長を務めさせて頂き、この 2 年間で OBG の皆様を始め、監督やコーチ、トレーナーなど多くの方々と関わらせていただきました。本当に沢山の事を学ばせて頂き、競技以外の面でも成長をすることができたと思っております。来年度は 4 年生として、ブロック長として学んだことを他の部員にも還元し、鹿児島大学陸上競技部のさらなる発展に貢献できるよう取り組んで参りたいと思います。最後になりましたが、今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

今シーズンを振り返って

フィールドブロック長 肝付 宇紀

フィールドブロック長を務めさせて頂いております肝付宇紀です。はじめに陸上競技部が活動できているのも監督やコーチ、トレーナー、OBGの皆様などのご支援のおかげであることを実感しております。この場を借りて、感謝申し上げます。

今シーズンを振り返ってみると、多くのものが自己ベストを更新し、充実したシーズンであったのではないかと思います。また、歴代記録が目まぐるしく更新される1年であり、走幅跳、十種競技の歴代記録が更新されました。しかし、春イン後ブロック長を交代してから、記録を更新するものがおらず、私の力不足を感じています。今の跳躍のメンバーはレベルの高い選手がそろっており、また大学生にもなれば自分の考えを持っているため、みんなが納得するようなメニューを立てることは難しいと感じておりますが、試行錯誤しながら来シーズン皆が記録更新できるように努めていきたいと思っております。

また、投擲は3人という少ないメンバーではありますが、投擲のパート長の山田桃愛を中心に活気ある練習を行っています。自己記録を更新する者もいましたが、怪我をしている者が多いのが気になるところであります。

今シーズンの課題として跳躍も投擲も故障する人が多かったことが挙げられます。怪我をしない体づくりを行い、シーズン通して戦えるということが大切になってきます。体幹トレーニングやウエイトトレーニングの見直し、補強系のトレーニングを大切にしながら練習を行っていききたいと思います。

記録更新のために、一人一人が目標を明確化し、短期的な目標と長期的な目標を持ち、自分の目標達成に向けて努力してほしいと思います。ブロック長は、メニューを作ったりみんなを引っ張っていったりする立場ではありますが、雰囲気作りも大切な役割であると感じています。日頃の練習、試合の応援など良い雰囲気を作って、目標達成していきたいと思っております。

最後になりましたが、この鹿児島大学陸上競技部をフィールドブロックが引っ張っていき、来シーズンのインカレで一人でも多くの自己記録更新者、入賞者、そして日本インカレに出場者・入賞者が出るように、努力を積み重ねて参ります。監督・コーチ・トレーナー・OBGの皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

平成29年度
鹿児島大学陸上競技部OBG会
決算報告

《収入》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	¥377,616	
OBG会会費	¥602,000	29年度納入分
雑入	¥39,440	利子・返金・總會残金等
計	¥1,019,056	

《支出》

項 目	金 額	備 考
学生補助	¥300,000	
事務通信費	¥14,871	切手代・封筒代・印刷費・郵送料・会合等
計	¥314,871	

収入合計	¥1,019,056
支出合計	¥314,871
差引合計	¥704,185

※ 平成30年度へ繰越し

以上ご報告いたします。

鹿児島大学陸上競技部OBG会

会 計 川路 龍世



第 72 回 大分県陸上競技選手権大会

平成 30 年 4 月 29 日 (土) 30 日 (日)

大分スポーツ公園大分銀行ドーム・大分

種目	氏名	決勝	順位	備考
5000mW	後藤 大輝(3)	30'09"21		
三段跳	佐藤 拓実(4)	13m96(-0.5)	3 位	

第 72 回 福岡県陸上競技選手権大会

平成 30 年 5 月 3 日 (木)

博多の森陸上競技場・福岡

種目	氏名	決勝	順位	備考
1500m	中山 謙(3)	4'25"58	9 位	

第 73 回 佐賀県陸上競技選手権大会兼国体選考会

平成 30 年 5 月 12 日 (土) 13 日 (日)

佐賀県総合競技場 陸上競技場・佐賀

種目	氏名	決勝	順位	備考
200m	弓 尚樹(4)	DNS		
走高跳	柴田 康平(3)	1m85	3 位	

第 88 回 九州学生陸上競技対抗選手権大会

平成 30 年 5 月 18 日 (金) 19 日 (土) 20 日 (日)

東平尾公園博多の森陸上競技場・福岡

男子 (総合 4 位 : 44 点、トラック 7 位 : 25 点、フィールド 4 位 : 11 点、混成 2 位 : 8 点)

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	田中 幹三郎(3)	11"19(+1.6)				
	内村 仁(2)	DNS				
	永田 拓海(2)	11"01(+2.6)	10"99(+1.7)			

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
200m	弓 尚樹(4)	27"87(+2.9)				
	内村 仁(2)	DNS				
	永田 拓海(2)	22"05(+2.1)	21"81(+1.7)			自己ベスト 鹿大歴代5位
400m	佐藤 拓実(4)	54"11				
	勇島 海斗(3)	50"60	51"14			
	吉岡 朋樹(2)	52"02				
800m	日高 黎士(3)	2'00"39	2'02"09			
	大津屋 省吾(3)	1'55"13	1'55"20	1'52"37	2位	自己ベスト 鹿大歴代4位
	船元 俊佑(1)	DNS				
1500m	上木 進伍(3)	4'11"59				
	中山 謙(3)	4'21"47				
	大津屋 省吾(3)	4'02"22		4'28"70	12位	
5000m	蔵満 周平(3)			16'53"91		
10000m	宮川 和之(2)			36'38"10		
	笹江 晴貴(2)			34'12"59		
	茅野 智裕(1)			33'40"64		
400mH	小牧 慧士(2)	56"90				
3000mSC	柴田 栗佑(1)	9'44"43		9'29"45	2位	
10000mW	高橋 宏敬(M2)			45'01"85	2位	
	後藤 大輝(3)			DQ*K2		
4 × 100mR	吉岡 朋樹(2)	42"26				
	永田 拓海(2)					
	田中 幹三郎(3)					
	馬見塚 大樹(2)					
4 × 400mR	勇島 海斗(3)	3'23"60				
	永田 拓海(2)					
	大津屋 省吾(3)					
	小牧 慧士(2)					
	勇島 海斗(3)					
	大津屋 省吾(3)			3'19"53	6位	
	永田 拓海(2)					
小牧 慧士(2)						
走高跳	柴田 康平(3)			1m80	17位	
棒高跳	戸高 弘英(4)	NM				
走幅跳	田坂 裕輝(3)			7m29(+1.4)	7位	
	田中 幹三郎(3)			7m43(+1.8)	5位	自己ベスト 鹿大歴代2位
	馬見塚 大樹(2)			7m25(+0.3)	8位	

	黒永 祐汰(4)*OP	7m27(+2.7)				
三段跳	染矢 健平(3)	NM				
	田坂 裕輝(3)			15m27(+3.0)	5 位	
	黒永 祐汰(4)	13m96(+4.3)			11 位	
	佐藤 拓実(4)*OP	13m93(+1.5)				
やり投	河野 泰志(M1)			57m28	9 位	
	恵島 卓海(3)			56m18	10 位	

種目	氏名	種目	記録	点数	合計	順位	備考
十種競技	肝付 宇紀(3)	100m	11"14(+0.0)	830	6716	2 位	自己ベスト 鹿大歴代 1 位 ※100m 自己ベスト ※走幅跳 自己ベスト 鹿大歴代 1 位 ※走高跳 自己ベスト 鹿大歴代 5 位 ※400m 自己ベスト ※円盤投 自己ベスト ※1500m 自己ベスト
		走幅跳	7m52(+1.0)	940			
		砲丸投	8m75	411			
		走高跳	2m02	822			
		400m	49"94	817			
		110mH	16"02(+2.1)	730			
		円盤投	28m72	439			
		棒高跳	3m40	457			
		やり投	47m76	556			
	1500m	4'34"67	714				
	山田 勇弥(2)	100m	12"28(+0.0)	597	5024	8 位	自己ベスト ※100m 自己ベスト ※走幅跳 自己ベスト ※400m 自己ベスト ※棒高跳 自己ベスト
		走幅跳	5m88(-0.9)	561			
		砲丸投	7m82	365			
		走高跳	1m65	504			
		400m	55"14	593			
		110mH	18"77(+3.0)	453			
		円盤投	25m12	369			
		棒高跳	3m60	509			
やり投		43m97	500				
1500m	4'56"25	582					

女子（総合 8 位：11 点、トラック 8 位：11 点）

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	上田 真子(3)	12"77(+2.8)	12"77(+1.6)	7 位	自己ベスト
	滝川 愛月(3)	DNS			
	笠原 桃子(1)	13"28(+2.2)			
200m	上田 真子(3)	27"40(+1.8)			
	滝川 愛月(3)	DNS			
	笠原 桃子(1)	27"50(+2.4)			
800m	松下 綾乃(1)	2'28"40			

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考	
1500m	西 佳苗(3)	5'03"88				
	宮田 奈々(2)	5'29"32				
	松下 綾乃(1)	5'13"34				
100mH	山口 優萌(2)	15"53(+2.4)				
3000mSC	西 佳苗(3)		12'07"51	5 位		
4 × 100mR	笠原 桃子(1)		49"87	6 位		
	上田 真子(3)					
	曾田 陽菜子(1)					
	山口 優萌(2)					
4 × 400mR	笠原 桃子(1)	4'14"41	4'15"09	7 位		
	曾田 陽菜子(1)					
	松下 綾乃(1)					
	城戸 未宇(2)					
やり投	山田 桃愛(2)	38m88		9 位		

2018 年日本学生陸上競技個人選手権大会

平成 30 年 6 月 15 日 (金) 16 日 (土) 17 日 (日)

Shonan BMW スタジアム平塚・神奈川

種目	氏名	決勝	順位	備考
三段跳	田坂 裕輝(3)	15m05(+1.3)	16 位	

第 71 回 西日本学生陸上競技対抗選手権大会

平成 30 年 6 月 29 日 (金)

沖縄県総合運動公園陸上競技場・沖縄

種目	氏名	予選	備考
1500m	中山 謙(3)	4'05"67	

第73回 鹿児島県陸上競技選手権大会
兼 国民体育大会陸上競技県予選会

平成30年7月6日(金) 7日(土) 8日(日)

薩摩川内市総合運動公園陸上競技場・鹿児島

男子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	永田 拓海(2)	11"09(+2.2)	11"26(+0.1)	6位	
	内村 仁(2)	11"61(+1.4)			
200m	勇島 海斗(3)	22"87(-0.5)			
	永田 拓海(2)	22"41(-0.3)	22"46(-0.2)	8位	
	吉岡 朋樹(2)	23"40(-0.3)			
400m	大津屋 省吾(3)	49"66	49"00	3位	
	吉岡 朋樹(2)	51"71	51"25	7位	
800m	上木 進伍(3)	2'02"81			
	日高 黎士(3)	2'02"99			
	大津屋 省吾(3)	1'59"81	1'53"54	1位	
1500m	上木 進伍(3)	4'16"27			
	茅野 智裕(1)	4'07"23			自己ベスト
走幅跳	染矢 健平(3)		6m68(+1.2)		
	黒永 祐汰(4)		6m84(+1.0)	6位	
	馬見塚 大樹(2)		7m07(+0.6)	4位	
	林 凌平(1)		6m05(+0.3)		
三段跳	染矢 健平(3)		13m62(-0.4)	8位	
	田坂 裕輝(3)		15m06(+0.8)	3位	
	林 凌平(1)		13m41(-0.1)		
4×100mR	馬見塚 大樹(2)	43"02	43"11	5位	
	永田 拓海(2)				
	近藤 雄介(2)				
	吉岡 朋樹(2)				
4×400mR	勇島 海斗(3)	3'28"23			
	奥 柊大(1)				
	日高 黎士(3)				
	大津屋 省吾(3)				
	勇島 海斗(3)	3'20"12	2位		
	永田 拓海(2)				
	日高 黎士(3)				
	大津屋 省吾(3)				

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
200m	曾田 陽菜子	28"26(-0.6)			
400m	曾田 陽菜子		1'03"80	7位	
800m	松下 綾乃	2'23"53			
3000mSC	西 佳苗		12'05"96	1位	
4 × 100mR	山口 優萌	55"13			
	上田 真子				
	曾田 陽菜子				
	松下 綾乃				

第72回 宮崎県陸上競技選手権大会

平成30年7月7日(土)

宮崎県総合運動公園陸上競技場・宮崎

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	田中 幹三郎(3)	11"47(+0.0)			
走幅跳	肝付 宇紀(3)		7m10(+0.4)	1位	
	田中 幹三郎(3)		7m10(-0.6)	2位	

第73回九州陸上選手権大会 兼
第103回日本陸上競技選手権大会予選

平成30年8月17日(金) 18日(土) 19日(日)

東平尾公園博多の森陸上競技場・福岡

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
400m	大津屋 省吾(3)	48"67	49"11	4位	
800m	大津屋 省吾(3)	1'55"86	1'55"27	3位	
走幅跳	肝付 宇紀(3)		7m38(+1.8)	7位	
	田中 幹三郎(3)		7m45(+2.2)	4位	
三段跳	田坂 裕輝(3)		14m81(+2.2)	6位	
走高跳	柴田 康平(3)		NM		
4 × 400mR	吉岡 朋樹(2)	3'21"10			
	大津屋 省吾(3)				
	日高 黎士(3)				
	勇島 海斗(3)				

第46回九州学生陸上競技選手権大会

平成30年9月14日(金) 15日(土) 16日(日)

平和台陸上競技場・福岡

男子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	木場 彬仁(M1)	11"64(+3.2)				
	河野 優樹(3)	11"57(+1.1)				
	内村 仁(2)	11"36(+0.6)				
	永田 拓海(2)	11"08(+1.8)	11"06(+1.2)			
	馬見塚 大樹(2)	11"36(+0.6)				
	吉岡 朋樹(2)	11"45(+1.2)				
200m	吉岡 朋樹(2)	23"14(-1.7)				
400m	大津屋 省吾(3)	50"38	48"79	49"73	5位	
	奥 柊大(1)	52"64				
800m	大津屋 省吾(3)	1'59"87	1'55"99	1'53"13	1位	
	日高 黎士(3)	2'03"10				
	船元 俊佑(1)	2'04"02				
走幅跳	染矢 健平(3)			6m37(+1.8)		
	馬見塚 大樹(2)			7m29(+1.1)	4位	
	林 凌平(1)			6m46(+1.6)		
三段跳	染矢 健平(3)			13m52(+1.3)		
	林 凌平(1)			13m09(+3.3)		
やり投	河野 泰志(M1)			54m09		

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4 × 100mR	内村 仁(2)	43"11			
	永田 拓海(2)				
	吉岡 朋樹(2)				
	奥 柊大(1)				
4 × 400mR	吉岡 朋樹(2)	<u>3'18"76</u>	3'21"73	6位	チームベスト
	永田 拓海(2)				
	日高 黎士(3)				
	大津屋 省吾(3)				
	奥 柊大(1)	3'33"06			
	船元 俊佑(1)				
	西村 将吾(2)				
	奥村 峻明(1)				

種目	氏名	種目	記録	点数	合計	順位	備考
十種競技	山田 勇弥(2)	100m	12"31(+0.4)	591	4605		
		走幅跳	5m62(+0.3)	506			
		砲丸投	8m25	381			
		走高跳	1m65	504			
		400m	54"60	615			
		110mH	18"48(+0.9)	479			
		円盤投	25m77	382			
		棒高跳	NM	0			
		やり投	48m11	561			
		1500m	4'55"49	586			

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
200m	滝川 愛月(3)	27"76(-0.6)			
800m	松下 綾乃(1)	2'26"27	2'22"66	2位	
100mH	山口 優萌(2)		15"45(-1.5)	7位	

第3回 九州学生陸上競技新人選手権大会

平成30年10月13日(土)14日(日)

島原市営陸上競技場・長崎

男子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	河野 優樹(3)	11"54(+0.9)			
	田中 幹三郎(3)	11"08(+1.3)			
	永田 拓海(2)	10"86(+1.7)	10"75(+1.9)	4位	自己ベスト 鹿大歴代5位
	西村 将吾(2)	11"36(+1.6)			
	奥 柊大(1)	11"12(+1.3)			自己ベスト
200m	河野 優樹(3)	23"94(+2.3)			
	永田 拓海(2)	21"94(+2.0)	21"92(+1.4)	4位	
	奥 柊大(1)	22"76(+2.2)			
400m	奥村 峻明(1)	56"01			
800m	大津屋 省吾(3)	1'58"17	1'54"63	1位	大会新記録
	日高 黎士(3)	2'04"58			
	船元 俊佑(1)	2'05"89			

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
1500m	大津屋 省吾(3)		4'05"90	2位	
	中山 謙(3)		4'15"50	7位	
	宮川 和之(2)		4'41"71		
	下堀 公太郎(1)		4'28"72		
	船元 俊佑(1)		4'29"68		
5000m	蔵満 周平(3)		17'21"90		
	茅野 智裕(1)		15'55"15		
	柴田 栗佑(1)		15'19"00	2位	
3000mSC	柴田 栗佑(1)		9'34"10	1位	
走幅跳	染矢 健平(3)		6m58(+2.2)		
	田坂 裕輝(3)		6m81(+1.3)		
	肝付 宇紀(3)		7m44(+2.6)	2位	
	田中 幹三郎(2)		6m68(+1.6)		
	馬見塚 大樹(2)		7m32(+2.6)	3位	
	林 凌平(1)		6m28(+2.6)		
三段跳	染矢 健平(3)		13m98(+2.1)		
	田坂 裕輝(3)		15m22(+1.0)	1位	
	林 凌平(1)		13m14(+1.7)		
	有菌 蒼(1)		13m01(+1.6)		
走高跳	肝付 宇紀(3)		1m90	6位	
	柴田 康平(3)		NM		
砲丸投	和田 朋樹(1)		11m58	4位	
円盤投	和田 朋樹(1)		31m78	6位	
4 × 100mR	A	奥 柊大(1)	43"18		
		永田 拓海(2)			
		吉岡 朋樹(2)			
		内村 仁(2)			
	B	河野 優樹(3)	43"47		
		肝付 宇紀(3)			
		西村 将吾(2)			
		勇島 海斗(3)			
4 × 400mR	B	勇島 海斗(3)	3'29"50		
		奥 柊大(1)			
		船元 俊佑(1)			
		日高 黎士(3)			
	C	田中 幹三郎(3)	3'37"50		
		内村 仁(2)			
		山田 勇弥(2)			
		奥村 峻明(1)			

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
200m	滝川 愛月(3)	27"65(+2.1)			
	曾田 陽菜子(1)	27"45(+2.4)			
400m	曾田 陽菜子(1)	1'03"93	1'02"91	7位	
800m	松下 綾乃(1)		2'28"59	6位	
1500m	宮田 奈々(2)		5'33"15	7位	
	松下 綾乃(1)		5'05"36	2位	
5000m	西 佳苗(3)		19'34"76	5位	
100mH	山口 優萌(2)		15"21(+1.2)	3位	

種目	氏名	決勝	順位	備考
4 × 100mR	山口 優萌(2)	51"03	5位	
	上田 真子(3)			
	滝川 愛月(3)			
	曾田 陽菜子(1)			
4 × 400mR	曾田 陽菜子(1)	4'15"25	6位	
	松下 綾乃(1)			
	山口 優萌(2)			
	滝川 愛月(3)			

第36回 九州学生駅伝対校選手権大会

平成30年12月1日(土)

島原市営陸上競技場・長崎

順位	大学名	記録
1位	第一工業大学	3時間6分25秒
2位	日本文理大学	3時間6分55秒
3位	福岡大学	3時間7分44秒
4位	志學館大学	3時間12分50秒
5位	久留米大学	3時間12分56秒
6位	熊本大学	3時間13分17秒
7位	九州国際大学	3時間13分28秒
8位	九州大学	3時間14分49秒
9位	沖縄国際大学	3時間16分9秒
10位	長崎国際大学	3時間17分12秒
11位	鹿児島大学	3時間18分54秒

1区(7.73km)	中山 謙(3)	区間	0:25:34(9位)
		累計	-
2区(8.39km)	柴田 栗佑(1)	区間	0:25:43(6位)
		累計	0:51:17(7位)
3区(8.27km)	茅野 智裕(1)	区間	1:17:30(6位)
		累計	0:26:13(6位)
4区(9.38km)	竹下 温(1)	区間	0:39:29(18位)
		累計	1:56:59(11位)
5区(9.08km)	豊平 昂佑(1)	区間	0:32:32(13位)
		累計	2:29:31(11位)
6区(7.24km)	大津屋 省吾(3)	区間	0:21:58(9位)
		累計	2:51:29(10位)
7区(7.71km)	蔵満 周平(3)	区間	0:27:25(18位)
		累計	3:18:54(11位)

第18回 九州学生女子駅伝対校選手権大会

平成30年12月1日(土)

島原市営陸上競技場・長崎

順位	大学名	記録
1位	福岡大学	1時間18分17秒
2位	活水女子大学	1時間22分55秒
3位	名桜大学	1時間27分12秒
4位	折尾愛真短期大学	1時間30分32秒
5位	熊本大学	1時間31分12秒
6位	佐賀大学	1時間32分36秒
7位	九州大学	1時間33分24秒
8位	沖縄国際大学	1時間34分09秒
9位	琉球大学	1時間34分48秒
10位	久留米工業大学	1時間35分35秒
11位	鹿児島大学	1時間38分18秒

1区(4.26km)	松下 綾乃(1)	区間	0:17:34(11位)
		累計	-
2区(3.47km)	宮田 奈々(2)	区間	0:14:59(6位)
		累計	0:32:33(10位)
3区(3.83km)	宮崎 陽菜乃(2)	区間	0:17:27(11位)
		累計	0:50:00(11位)
4区(7.81km)	西 佳苗(3)	区間	0:30:53(9位)
		累計	1:20:53(11位)
5区(3.48km)	滝川 愛月(3)	区間	0:17:25(10位)
		累計	1:38:18(11位)

平成 30 年度 鹿児島大学陸上競技部 部員名簿

短距離(Short Sprint)

学年	氏名	出身校	所属	専門
M2	上村 洸樹	都城泉ヶ丘(宮崎)	工/情報生体	100m/11"03 200m/22"57
M1	木場 彬仁	加治木(鹿児島)	農/生物環境	100m/11"36
4	弓 尚樹	佐賀西(佐賀)	工/建築	200m/22"72 400m/49"94
4	佐藤 拓実	大分舞鶴(大分)	工/機械工	100m/11"01 三段跳/14m65
3	河野 優樹	鶴翔(鹿児島)	工/海洋土木	100m/11"53
3	滝川 愛月	宇土(熊本)	工/情報生体	200m/26"42
3	森下 穂風	第二(熊本)	教育/健康教育	マネージャー
2	内村 仁	鹿児島高専(鹿児島)	教育/初等	100m/11"17 200m/22"72
2	永田 拓海	鹿児島中央(鹿児島)	教育/保健体育	100m/10"75 200m/21"81
2	西村 将吾	新宮(福岡)	工/情報生体	100m/11"36
2	吉岡 朋樹	鹿児島(鹿児島)	工/情報生体	100m/11"23 200m/22"73
2	山口 優萌	加治木(鹿児島)	教育/保健体育	100mH/15"11
1	前田 唯羽	加治木(鹿児島)	法文/法経社会	マネージャー

短距離(Long Sprint)

4	甲斐 達気	大分舞鶴(大分)	工/機械工	400m/48"81
4	財前 将大	宇佐(大分)	工/建築	400mH/61"06
4	松岡 顕仁	東稜(熊本)	工/化学生命	800m/1'55"83
3	大津屋 省吾	城南(福岡)	工/海洋土木	400m/48"67 800m/1'52"37
3	日高 黎士	第二(熊本)	工/情報生体	800m/1'57"86
3	勇島 海斗	鹿児島中央(鹿児島)	教育/保健体育	200m/22"35 400m/49"91
2	城戸 未宇	筑紫女学園(福岡)	理/物理	800m/2'27
2	小牧 慧士	加治木(鹿児島)	教育/保健体育	400mH/55"86
1	奥 柊大	甲南(鹿児島)	理/物理	400m/51"69
1	奥村 峻明	彦根東(滋賀)	教育/技術	400m/54"30
1	曾田 陽菜子	鹿屋(鹿児島)	教育/保健体育	200m/26"08 400m/58"14
1	船元 駿佑	天草(熊本)	水産/水産	800m/1'59
1	松下 綾乃	鶴丸(鹿児島)	教育/保健体育	800m/2'14"96

長距離

M2	高橋 宏敬	日向(宮崎)	農/生物資源	5000m/15'50"60 10000mW/43'59"49
3	蔵満 周平	加治木(鹿児島)	理/数理情報	1500m/4'27"70 5000m/16'19"89
3	後藤 大輝	佐伯鶴城(大分)	法文/経済情報	1500m/4'32
3	中山 謙	九州国際大学付属(福岡)	教育/保健体育	1500m/3'58"99 5000m/15'13"79
3	西 佳苗	樟南(鹿児島)	法文/人文	3000mSC/11'54"62 3000m/9'48
2	宮川 和之	第二(熊本)	工/情報生体	5000m/16'14"85
2	笹江 晴貴	鹿児島(鹿児島)	工/機械工	1500m/4'11 5000m/15'28"05
2	宮崎 陽菜乃	鎮西学院(長崎)	理/地球環境	マネージャー
2	宮田 奈々	八代(熊本)	理/地球環境	1500m/5'19"04 800m/2'35
1	茅野 智裕	鹿児島工業(鹿児島)	工/電気電子	5000m/15'20"84 10000m/32'08"27
1	柴田 栗佑	滝川(兵庫)	水産/国際食料	3000mSC/9'20"56 5000m/14'53"33
1	下堀 公太郎	玉名(熊本)	法文/法経社会	1500m/4'23
1	新森 大志	川内(鹿児島)	工/海洋土木	5000m/16'21
1	竹下 温	八幡(福岡)	理/物理	3000mSC/9'44"11
1	豊平 昂佑	加治木(鹿児島)	工/情報生体	5000m/15'50"59 1500m/4'13"28
1	村上 ころろ	福岡中央(福岡)	工/情報生体	マネージャー

跳躍・混成

M1	河野 泰志	山口中央(山口)	教育/保健体育	やり投/59m06
4	黒永 祐汰	鹿児島玉龍(鹿児島)	水産/水産食品	走幅跳/7m18 三段跳/14m36
4	戸高 弘英	鹿児島中央(鹿児島)	法文/経済情報	棒高跳
3	染矢 健平	武岡台(鹿児島)	工/機械工	走幅跳/6m95 三段跳/13m62
3	肝付 宇紀	小林(宮崎)	教育/保健体育	十種競技/6716点 走幅跳/7m52
3	柴田 康平	佐賀北(佐賀)	教育/保健体育	走高跳/1m85
3	田坂 裕輝	鶴丸(鹿児島)	教育/保健体育	走幅跳/7m42 三段跳/15m80
3	田中 幹三郎	日向(宮崎)	医/保健	走幅跳/7m43
2	安倍 嵩士	大濠(福岡)	工/機械工	走高跳/2m03
2	馬見塚 大樹	出水(鹿児島)	工/海洋土木	走幅跳/7m41

2	山田 勇弥	都城泉ヶ丘(宮崎)	教育/保健体育	十種競技/5024 点
2	山田 桃愛	八女(福岡)	教育/保健体育	やり投/43m33
1	有菌 蒼	加治木(鹿児島)	工/化学生命	三段跳/13m50
1	林 凌平	八代(熊本)	教育/初等	走幅跳/6m70 三段跳/13m70
1	和田 朋樹	東海大学付属(大阪)	理/物理	砲丸投/12m84 円盤投/33m

編集後記

今回も皆様のご協力により、平成 30 年度の部報を無事完成させることができました。部報作成にあたり、お忙しい中ではありましたが、原稿を寄せていただいた監督・コーチ・OBG の方々や、編集作業にご協力いただいた皆様に紙面を借りてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

大会結果・記録のページにもありますように各大会におけるチーム、個人の結果は様々なものではありましたが、新しい次のシーズンを迎えるにあたり日頃からご指導、ご声援をいただいております OBG の皆様に感謝し、またさらに良い記録の報告ができるよう部員一同練習に励んでいきたいと思っております。

今回は紙面上の都合もあり一部の大会結果しか記載できませんでしたが、選手たちはまだまだ多くの競技会・記録会に参加しております。大会の大小に関わらず、鹿大歴代記録の更新を始め好記録が生まれております。部報上では様々な制約があり載せることのできない大会情報、日々の活動をおさめた写真などは鹿児島大学陸上競技部のホームページに記載してありますので、そちらもぜひご覧ください。

最後になりましたが、この度大学を出る卒業生の方々や OBG 会の皆様、そして鹿児島大学陸上競技部の今後の活躍と発展を記念して編集後記とさせていただきます。

編集者一同